

ました。行違ひになつたに違ひないと引き返して急ぎ歸つて來ましたらば案の定子供は私の家を出ましてから三十分程して歸宅しましたとの事。

けれど子供は宅に居ませんでした。已に食事して又近傍の原にトンボ釣に行きましたと下女のしらせに、急ぎ迎にやりまして連れ歸らしめて時間を違へし事を染み染み訓戒しました。そして親に心配させる不孝を詫びさせました。かゝる企てのよきかあしきか判断して皆様におすゝめするのではありませんが、兎に角必ず歸り來ること。遊ぶ場所で悪友がなければ身心を鍛練する上に功用は慥かにある事と存じます。事實はすぐに現はれまして、晚餐の進む事、床に入りて熟睡すること。何となく生き生きしたる容子のある事は、たしかに紅塵を避けて幽邃な場所で清潔の空氣を呼吸し、運動をした賜物であらうと存じました。

度々かゝる手段を用ふる事はよくはありますまいが、親兄弟がついて、或はつかないで必ず歸

り來ることの確信の出來得る範圍に於てよき場所を擇び遠征をやらせる事は心身の鍛練に裨益ある事と存じますが如何で御座いませうか。

産時の思出

某 女 史

今年數へ年三歳になる男兒の産時を思ひ起して、此處に書きますのは、私の實驗を記しまして、世の産を恐れらるゝ人々の参考に資せんとする徴衷に外ならぬので御座います。私は五番目の子の生れますまで學校に出て居りました。此の兒が生れまして二三ヶ月経ちまして、學校を退きましたから、此の兒の生れます時は出校いたして居りました。

忘れも致しません、一昨年暮迫りました十二月の十三日いつもの様に大きなお腹を被布と袴に包みまして、成るべく目立たない様にし、電車にのりまして、殆んど一里の道を參りました。學校は

東京の中心と目せられます日本橋の富豪の軒をな
らべた空気の汚ない場所御座います。

朝の三時間の授業は難なくすましまして、晝食を
生徒と共にいたして居りますと、妙にお腹が痛む
ので御座います、ハテナ、モ一油断はならないと
思ひつゝ、人様より二倍位のお辨當を頂きまして、
生徒に笑はれながら無事にすましまして、四時間
目の授業にかゝりますと、痛みが少しひどくなり
ました。ソコで授業の終りました時生徒に向つて
私は事に寄りますと、明日からしばらく休校す
るの止なき事となるかも知れませぬ、そうしま
すと外の先生が變りにいらして下さる事になり
ます、そゝなりまして、今迄通りよく熱心に
勉強して決して怠る様な事があつてはなりません
ぬ。とりわけ來春三月は皆さんの、八年間の在
校中の成績があらはれる最も大事な時で御座い
ますから、たとへ一時間でも無駄口してはなり
ません、と

よく言ひきかせて居る中もお腹の痛みはしだい
に増さる多分陣痛に違ひなからうと自覺いた

しました、ついでに公務を片づけてと、五時間
目に教授批評會がありましたから、出席いたしま
した、其中も二三度痛みが参りました、其れで
も平氣で、殘務をすまし、明日の教案は素より萬
一の準備も残る方なく、同輩の退校しました後ま
でも何くれと、世話して最後午後五時頃、校門を
出まして、電車にのり、東明館前まで來ますと一
度キリツと痛みが起りました。電車の神樂坂下に
つきましたのは、彼此六時頃で御座いました。

いつも買ひます子供のお土産を調へまして、宅に
歸つて見ますれば、主人は既に學校から歸つて居
られました、用事があつて更に亦出掛けらるゝ
とて晚餐の最中でありました。

今日の様子を話しまして書生をやりて、産婆を迎
へしめ、主人は珍客の來れりとして外出なさいま
した。下女と、二人のみで心細う御座いました、
入湯しておかないと又久しく身體の自由を缺いて
心地がわるからうと存し其れから三町ばかりの湯
屋に行きまして身を清め、一時間ばかりして、宅
に歸りました。

産婆も来て居りますし、産室も産具も整ひました。孤燈の下で産婆と二人今か今かと待つて居りました。がどうした事が陣痛がいと弱くて、はかばかしよう生れそうにもありません、いつもの様でないと案じて居りますと主人が歸られました。一步を誤れば死去三途、實にや勇士の戰場に臨んだ決心でと昔から申しますが、それでも頭が暈なもので御座いますから、よい事ばかりは考へないで、若し萬一此儘に終らんかあとに残りました四人の兒がなど、思ひますと胸は一杯になつて参ります、陣痛は次第にはげしくなります。産婆も大抵十二時頃御誕生で御座いませうと申しました。十二時を樂みに堪えがたい苦痛を堪えて居りました。が中々生れそうにもありません、夜は深くとふけ行きて、寒さは身に沁むばかりの眞夜中に、車夫を起して、醫者を迎にやりました其のあとで、一しきり烈しき陣痛と共に玉の様な男子は勇ましく初陣の初聲を擧げました。一家大喜び今迄の慘憺たる光景はあとを絶ちました、俄かに春めきました。私の氣分もすがく

として参りました。

醫師の選擇につきて

母 親

子供を育てまするに、平素病氣にかゝらぬ工夫をして、常に健體を保たしめる事にはあらゆる力を注がなければなりません、それでもどうかしますと、病氣にかゝる事がありまして、子供専門醫はいつても間に合ふ様にしておかないと困る事が御座います。過ぎし年の事、只今五歳になります男兒が不圖した事から發熱して、つい近所のお醫者に診て頂きました。素人でさへわかる全く麻疹で御座いました、其の外の子供も皆かゝりましたが、此の兒ばかりは熱が大變高くて、咳もはげしく、コンコンの響が恐ろしく胸にこたへる様で、奥の間に就癖させましたのが、玄關に見舞に來らるゝ人の耳にすぐ聞えるので、皆様が眉をひそめられました。